



和小だより

弟子屈町立和琴小学校

10月31日 発行者 校長 大山道弘

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



読書の秋

校長 大山 道弘

先日行われた学習発表会では、保護者や地域の皆様に温かい拍手を頂き、子どもたちは達成感にあふれていました。ありがとうございました。

気象庁の長期予報では、「今年の秋は平年より暖かい」となっていました。それでも10月になると急に気温が下がり、少しずつ冬の足音が聞こえてきました。

この季節は物事に集中して取り組むことに適した時期で、スポーツの秋、芸術の秋など、様々な秋の取り組みがあります。秋の取り組みの中に、読書に一番適した季節であるという「読書の秋」があります。「読書の秋」という言葉の起源は、8～9世紀の中国の文人である韓愈（かんゆ）が詠んだ詩にあるそうです。韓愈の詩の中に「灯火親しむべし」という一節があります。これは「秋の夜は涼しくて過ごしやすく、明かりを灯して読書するのに適している」という内容です。この詩が「読書の秋」の由来だと言われています。蒸し暑い夏が終わり、気温が下がる秋には、昔の人々もゆっくりと読書を楽しんでいたのかもしれないね。

先週の10月27日から11月9日までは読書週間です。7月に実施した学校評価の児童アンケートの「学校や家で読書をしていますか」という質問には、「そう思う」6名、「だいたいそう思う」3名と全員読書をしていると回答しています。学校では、休みの時間の他にもテストや活動が早く終わったときなどの時間に、読書をしている姿を見かけます。ご家庭では、どうでしょうか。図書館バスで本を借りている子どもの姿も多く見かけるので、ご家庭でも読書をしていることと思います。

読書には以下のような効果があるとされています。

- 集中力が育つ
- 新しい知識が増える
- コミュニケーション能力が育つ
- 論理的思考力が育つ
- 気持ちが安定する
- 語彙力が育つ
- 読解力が育つ
- 想像力が育つ

気持ちが安定する理由は、真剣に読書をしていると時間を忘れ夢中になり、現実ではない世界に没頭することで、いらいらを忘れて前向きな気持ちになれるからです。また、読書量の多い子どもほど心が落ち着いている傾向があるそうです。気持ちが不安定なときこそ読書をしてみると良いのかもしれない。

子どもたちは読書を通して、いろいろなことを頭の中で体験したり、新しい知識を身に付けたり、興味を広げたりしています。そこで身に付くのは、「勉強」という枠にとらわれない、生きていくための力です。子どものときから読書をすることで、人生をより豊かに生きていくことができるようになります。秋の夜長、ご家族で読書をして過ごしてみませんか。

< 11月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	水	安全点検日 読み聞かせ	14:00	○
2	木	児童委員会	14:00 15:15	○
3	金	文化の日		
4	土	週休日		
5	日	週休日		
6	月	個別面談①	14:00 14:55	○
7	火	個別面談② ALT 校外学習(3・4年)	14:00 14:55	○
8	水	全校集会	14:00	○
9	木	避難訓練 防犯教室 個別面談③	14:00 14:55	○
10	金	個別面談④ ALT	14:00 14:55	○
11	土	週休日		
12	日	週休日 釧P連研究大会		
13	月		14:00 14:55	○
14	火	ALT	14:00 14:55	○
15	水	なわとび集会	14:00	○
16	木	弟中一日体験入学(6年)	14:00 14:55	○
17	金	ALT	14:00 14:55	○
18	土	週休日		
19	日	週休日 町P連研究大会		
20	月	午前授業	12:45	○
21	火	ALT	14:00 14:55	○
22	水	ましゅうランド(1・2年)	14:00	○
23	木	勤労感謝の日		
24	金	集合学習	15:20	○
25	土	週休日 PTA親子レク(予定)		
26	日	週休日		
27	月		14:00 15:20	○
28	火	ALT	14:00 14:55	○
29	水	午前授業	12:45	○
30	木	図書館バス	14:00 15:20	○

和琴小学校ホームページ

学校の様子や地域の話題を配信しています。ぜひご覧ください。

<http://163.44.3.160/app-def/S-102/washou/>



10月の和っ子

■収穫祭

9月29日(金)に、低中学年が収穫祭を行いました。作った料理は「じゃがバター」と「芋団子」です。

好きな大きさのジャガイモを選び、担任の先生にふかしてもらいました。また、芋団子は自分たちで形を考えて焼きました。

高学年は、大森さんに教えていただきながら育てたメロンをシャーベットにしました。

今年も無事、農園活動を終わることができました。

ご協力いただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



■ぶどうの収穫体験

10月16日(月)には、地域のぶどう畑に行き、収穫作業に参加してきました。作業は、ぶどうの房をはさみで切ってコンテナに入れ、コンテナがいっぱいになったら空のコンテナと交換・・・というものでした。

みんなの頑張りで、あっという間に、10箱以上のコンテナが、ぶどうでいっぱいになりました。

秋晴れの下、心地よい汗をかけたひとときでした。



■地域文化体験～親子木育教室～

10月21日(土)に地域文化体験として親子木育教室を行いました。講師の先生は、「てしかが自然学校」の萩原 寛暢さんです。萩原さんは、子どもたち



一人一人に対して優しくていねいに教えてくださいました。子どもたちは、保護者の方や先生方と一緒に、最後の最後まで作品作りに楽しく、粘り強く取り組んでいました。萩原さんの温かい人柄を感じながら、

手作りの作品作りに打ち込めた楽しい時間になりました。

■教育実習

10月16日(月)からの2週間、高学年には渡名喜舞先生、中学年には齊藤亜光先生、低学年には太田千裕先生が入り、子ども達との関係づくりや授業の計画など、様々な事を学びました。26日(木)に行われた実習期間の集大成としての研究授業には、大学の先生や本校の職員も参加し、授業参観や意見交流を通して、大いに学び合うことができました。



子ども達にとっても貴重な機会で、自分たちと年齢の近い大学生との出会いと交流は、大きな刺激となったことでしょう。別れは寂しいものですが、どこかで再会した時に、成長した自分を見せられるように、子ども達にも教育実習生にも、これからの日々を大切に過ごしてほしいと思います。

第2回学校運営協議会

<学校運営協議会とは?>

学校と地域をつなぎ、子ども達の教育環境を充実させ、それを地域の活性化にもつなげることを目的に、地域と学校の中心となって計画・検討を行う組織です。



10月11日(水)に今年2回目の協議会が行われました。学校からは前期の教育活動の様子や学校評価について説明し、出席者からたくさんの貴重なご意見をいただきました。

本協議会を通して、保護者の方や地域の方が子どもたちをあたたく見守ってくださっていることを強く感じました。いただいたご意見をもとにして、学校活動を見つめ直し、より良い学校作りにつなげていきたいと思っています。